

全国養護教諭連絡協議会 第16回研究協議会 参加報告

平成23年2月25日(金) メルパルクホール



全国養護教諭連絡協議会



第16回

研究協議会



とき 平成23年2月25日(金)

ところ メルパルクホール



全国養護教諭連絡協議会

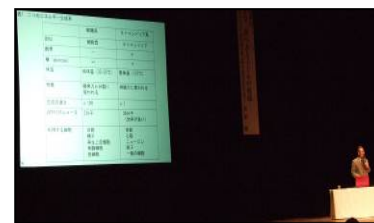


<ランチョンセミナー>
子宮頸がんワクチン・検診についてのお話でした。

開会のあいさつ	全国養護教諭連絡協議会長 財団法人日本学校保健会会長	堀田 美枝子 唐澤 祥人
祝 辞	文 部 科 学 大 臣 全 日 本 中 学 校 長 会 長	高 木 義 明 新 藤 久 典
特 別 講 演	「生き方、食べ方と子どもの健康」 新潟大学大学院医歯学総合研究科教授・医学博士	安 保 徹
基 調 講 演	「組織活動の推進について」 —保健室経営計画等— 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課 健康教育企画室健康教育調査官	采 女 智津江
フォーラム	「組織的な対応における養護教諭の役割を迫及する」 コーディネーター シンポジスト	宮 城 教 育 大 学 教 授 数 見 隆 生 福 島 県 郡 山 市 立 行 健 第 二 小 学 校 湯 田 厚 子 愛 知 県 西 尾 市 立 西 尾 中 学 校 杉 本 康 子 千 葉 県 立 松 戸 国 際 高 等 学 校 渡 邊 久 美 子

《参加者の感想》

- ・ 長時間労働や心の苦悩を抱えた生き方は一日のほとんどを交感神経緊張で過ごすため、心血管系に負担がかかる。病気は“人間としての偏り”から始まっていることを、安保先生の講演で理論的に学びました。ところが、午後のフォーラムで、先進的な実践を報告され、更なる取組が必要である自己を発見し焦燥感にかられてしまいました。やはり自分は交感神経優位な生き方しかできないとの結論に至りました。(新潟市立西川中学校 本間邦子)
- ・ 過敏症やアレルギー疾患等病気の約3割はリラックス過剰で起こる。どんなことでも「し過ぎてもしなさ過ぎては害になる。」「病気を治すには生き方を変える。」等、新大大学院の安保教授の講演は大変興味深く、またお話を聞く機会が欲しいと思いました。語り口も心地よく、癒されるひとときでした。(阿賀野市立安野小学校 佐藤俊子)
- ・ 暖かい風の中、会場に着きました。さすがに全国大会とあって、様々なお国言葉が耳に飛び込んで来ました。新潟大学の安保教授の特別講演が、印象的でした。青森なまりが心地よい上、嫌味のないユーモアを交えての素晴らしい講演でした。機会があれば、当支部の研修会において頂きたいと思った内容でした。午後のフォーラムでは、他県の取り組み等が分かり、実りある一日でした。(柏崎市立松浜中学校 中澤貞子)
- ・ 安保徹先生の講演から「無理のし過ぎは体を壊す。」「楽過ぎるのも心を駄目にする。」自律神経のバランスがとれていれば免疫力が付き、病気予防につながります。すべてのお話に聴き入ってしまい、帰宅後、先生の著書を購入し読み始めています。先生のお話のように、適度な仕事、程よいストレスと上手に付き合いながら、毎日の執務を頑張りたいです。(糸魚川市立市振小学校 八木典子)
- ・ 研究協議会に参加し、強く心に残った言葉があります。それは、「今を生きる子どもたちを深く理解する『目』と叫びの聞こえる『耳』を持つ必要がある。」という宮城教育大学数見教授の言葉です。養護教諭として、このことを大切に、子どものサインを読み解く力や、多様な健康課題へ組織的に対応できる力をつけていきたいと思いました。(三条市立裏館小学校 星野真由美)



《新潟県からの参加者》 ※申し込み順に掲載し、校名は省略します。

高野慶子、籠島智恵子、関恵美、小野塚恵美子、富澤千春、塚原加寿子、藤巻理美子、
本間邦子、中澤貞子、戸田久恵、八木典子、保坂裕子、清野静子、佐藤俊子、横田美佐江、
米山優子、星野真由美、北原千秋、片桐麻子、金内美智子、吉越みどり、高橋尚子、大日向仁代、
加藤美幸、菅原菊子、野上玲子、町田範子
以上27名